



建設現場で発生するアルミスクラップの水平リサイクルフローを構築し、 新築建物でアルミサッシとして再生利用が実現

2025年12月18日

不二サッシ株式会社(本社:神奈川県川崎市、社長:江崎裕之)は、建設資材における循環型経済・脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一環として、株式会社大林組(本社:東京都港区、社長:佐藤俊美)、伊藤忠メタルズ株式会社(本社:東京都港区、社長:中谷次克)の2社と連携し、大林組が請け負う解体工事で発生するスクラップからアルミ材を選別回収して、アルミサッシに再生し、再び大林組の建設現場で利用するまでのトレーサビリティを明確にした水平リサイクル(※1)フローを構築しました。



水平リサイクルフローのイメージ図

1 社会的背景

2050年カーボンニュートラル実現を目指し、建設業界では建設物のライフサイクル全体のCO₂排出量であるホールライフカーボン(※2)の削減につながる取り組みを進めています。その中でもアップフロントカーボン(※3)の削減は建設会社による貢献度が高いため、建設物の設計、施工段階で、リユースやリサイクル建材を積極的に採用していく資源循環の取り組みが、資源有効利用促進法の観点でも重要です。

不二サッシはアルミ建材の製造時のCO₂排出量に関して、リサイクルアルミから製造する場合は新地金に比べて大幅に排出量を削減できる点に着目し、アルミリサイクル率向上に取り組んできました。今年度からリサイクルアルミ100%建材「Reサッシ R100」(※4)を展開し、GXに必要な原材料等の再資源化も戦略的に進めています。

2 取り組みによる効果

本フローの適用第一弾として、東京都内の大林組建物解体工事で発生したスクラップからアルミ材を選別し、伊藤忠メタルズが回収、加工、管理し、不二サッシに供給します。不二サッシは、回収されたアルミ材を原料化して、アルミサッシを製造し、大林組が施工する大林組技術研究所(東京都清瀬市)の「オープンラボ3(OL3)」新築工事第2期部

分で利用します。この取り組みにより、新材のみを利用したアルミサッシに比べ、製造時CO₂排出量を約80%削減します。また、今回の取り組みでは、アルミスクラップの排出元と再利用先を特定し、一連の作業をサッシ工場近郊エリア中心に完結させるフローを構築したことで、輸送によるCO₂排出量も軽減しています。

3 今後の展望

不二サッシグループは、「不二サッシグループ サステナビリティビジョン2050」に基づき、建設業界の脱炭素ニーズに応える建材開発を推進しています。

これからも「Reサッシ R100」などの高い環境価値を持つ製品を展開し、お客様の信頼に応え続けます。さらに各関係事業者との連携を通じて、水平リサイクル「サッシ to サッシ」をはじめとする資源の有効活用に今後も取り組み、循環型経済と脱炭素社会の実現に貢献していきます。

不二サッシグループ サステナビリティビジョン2050

「不二サッシは窓から夢をひろげていきます」の経営理念のもと、
「サステナブルな社会実現への貢献・選ばれる企業グループ」を目指します。



E 環境 Environment
G ガバナンス Governance
S 社会 Social

E 環境 Environment	S 社会 Social	G ガバナンス Governance
<ul style="list-style-type: none"> • 2050年カーボンニュートラルと脱炭素社会の実現を目指します • 暮らしを支える生態系の保全と回復を目指します • 資源循環の促進を追求します 	<ul style="list-style-type: none"> • 社会の期待に応える商品・製品づくりを追求します • 人権を尊重した公正な事業活動を実践します • 地域社会との協働を行います 	<ul style="list-style-type: none"> • 全てのステークホルダーに対し、適切な情報開示と責任ある対話を行います

※1 建設業界で掲げる水平リサイクルについて

コンクリート塊を再生コンクリート骨材、アスファルト・コンクリート塊を再生アスファルト合材として再生利用するなど、建設廃棄物を元の建設資材に再生資源化することや、貴重な資源を最終処分せず有効利用を進めること

※2 ホールライフカーボン

建設資材の製造、輸送を含む施工、運用、解体、廃棄されるまでの建物のライフサイクルで発生するCO₂排出量

※3 アップフロントカーボン

建設資材の製造段階(原材料調達、輸送、製造)および、施工段階(現場への輸送、施工)に発生するCO₂排出量

※4 不二サッシの再生低炭素アルミ建材「Reサッシ R100」

市中回収および社内リターンによるリサイクルアルミ100%で製造したアルミ建材。原材料～製造段階のCO₂排出量は形材1kgあたり2.9kg-CO₂eqであり、新地金100%アルミ形材に比べて約80%の削減効果(不二サッシ試算)があります。

